

ほけんだよいい



県立西蒲高等特別支援学校 保健室 平成23年11月4日 NO 6

ご家族の人といっしょによみましょう。

冬がやってきます！

感染性胃腸炎にご用心

当校では、おう吐等あった場合はノロウイルスかも・・・という想定でノロウイルス向けのおう吐処理方法で対処しています。

◆集団感染を防ぐために◆

ノロウイルス等は非常に感染力が強く、学級閉鎖や学校閉鎖も毎年報道されています。感染予防のために日頃から手洗い・うがいが重要となります。

おう吐物中には多くのウイルスが含まれています。まず生徒たちをその場から遠ざけ、職員が、消毒液でふき、換気をするようにしています。

ご家庭でも手洗い・うがいに心がけ、おう吐や下痢の症状があった場合には早めに受診していただくようご協力をお願いします。また、感染性胃腸炎と診断された場合は、出席停止扱いになりますので登校時、医師の登校許可が必要となります。すみやかに、学校へお知らせください。

○おう吐下痢物がついたものの処理方法について（感染性が疑われる場合）

汚物を取り除き、下洗いをして、塩素系漂白剤が使用できる衣類の場合、消毒薬に10分以上浸します。塩素系漂白剤が使用できない衣類の場合、大きな鍋に湯と衣類を入れ、1分以上沸騰させます。（85℃1分以上の加熱で十分ですが、温度計がない場合は、1分以上沸騰させましょう）

消毒液の作り方



キャップ1杯弱



水道水 1ℓ に入れる



0.1% 消毒液

処理方法

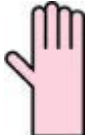







または





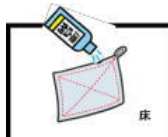





感染しない吐物処理の方法

○準備するもの

手袋	使い捨てマスク	ビニール袋	ペーパータオル ボロ布など	バケツ	塩素系漂白剤 (ハイターなど)
					

○処理手順

	おう吐物や排泄物の処理をする時は、窓を開け十分な換気をします。
	処理に携わる方以外は、近寄らないようにします。携わる方は、使い捨て手袋、マスクをつけます。 エプロンを着用すると服にウイルスが付着するのを防ぐことができます。
	おう吐は、ボロ布やぞうきんなどで「外側から内側」に向かって包み込むようにしてふき取ります。この時に一度ふいた面で再度ふくと感染が広がりますので注意しましょう。
	おう吐物をふいたボロ布やぞうきんはビニール袋に入れ、布にしみ込む程度の 塩素系漂白剤 をふりかけ、ビニール袋の口をくくり密封します。漏れるとせっかくの作業も台無しです。漏れないようにしましょう。
	用心する場合は、おう吐物などがついた場所に 塩素系漂白剤 をしみ込ませた布やペーパータオルなどをかぶせ、しばらく放置します。(目安：10分程度)その後、水ふきします。用いる薬剤によって腐食したりすることがあるので、注意書きをよくご覧になって行ってください。
	処理に使った手袋もビニール袋に入れ、汚物同様、密封し処分します。
	処理が終わったら、すみやかに手を洗います。
	おう吐物や排泄物の処理後、しばらく窓を開け十分な換気をします。

塩素系漂白剤：商品名「ハイター」「ブリーチ」などの塩素系漂白剤を使います。(消毒用アルコールは効きにくい。)

500mlのペットボトルを常備しておくといよい。

吐物のついた衣服やリネンの処理がない場合は、少量の消毒液を作ります。

「ハイター」等を50倍に希釈して使用します。希釈の目安としては、500mlのペットボトル1本に、ペットボトルのキャップ2杯(10ml)の塩素剤を入れると簡単です。

参考資料：

「二次予防にご注意！ノロウイルスの予防法と基礎知識より」<http://baby.shop-joho.com/980/>

「健康長寿ネットより」<http://www.tyoju.or.jp/hp/page000003600/hpg000003548.htm>

「ノロウイルス拡散防止のための安全な吐物処理方法」<http://www.pref.nagano.jp/xeisei/nagaho/pdf/f-out-osyori.pdf#search='おう吐処理の消毒液'>